

平成22年度学校自己評価シート（さいたま市立大宮北高等学校）

目指す学校像	本校の教育目標、北高生像のもと、意欲を持つ優秀な生徒が入学を希望する魅力ある学校
--------	--

重点目標	1 授業改善と学習活動の充実に取り組む。 2 進路希望の実現に取り組む。 3 健全な心身と心豊かな人間性を育む。 4 開かれた学校づくり（公開・評価・説明）を推進する。 5 魅力ある新しい教育課程の編成を進める。
------	--

達成度	A	ほぼ達成（8割以上）
	B	概ね達成（6割以上）
	C	変化の兆し（4割以上）
	D	不十分（4割未満）

※重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目（年度達成目標を意味する。）は複数設定可。
 ※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学校自己評価							学校関係者評価	
年度目標					年度評価（3月11日現在）		実施日平成23年3月17日	
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	学校関係者からの意見・要望・評価等
1	人間形成及び生涯学習の基礎となる確かな学力の向上を図るため、授業改善と学習活動の充実を一層進める方策に取り組む必要がある。	授業改善 学力向上 （個々の生徒の意欲を喚起し鍛える学習指導の展開）	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒の家庭学習時間の把握及び定着の工夫 ○平成23年度新入生向けシラバスの作成 ○実授業時間の把握・確保 ○2学期に合同授業研究会の実施 ○授業公開週間の学期毎設置 	<ul style="list-style-type: none"> ○家庭学習時間の調査をしたか。定着に向け、取り組みをしたか。 ○シラバスを年度内に作成できたか。 ○時間数を把握し、昨年度より時間数が増えたか。 ○2学期中に合同授業研究会を実施したか。 ○公開週間を学期毎に設けたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ○7月と12月に調査。1・2年生は平素の家庭学習時間が減少してしまった。 ○新入生のシラバス原稿を執筆中、4月中に作成する。 ○昨年度の授業実施率を出した。今年度は年度末に集計予定。 ○11月10日6教科で実施した。 ○6月と11月を公開月間とした。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○入学後から学習習慣の定着を具体的に働きかける必要がある。 ○授業実施率の改善策を次年度1学期中に決める。 ○授業アンケート結果を分析し具体的な策を講じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○進学希望者が多いのだから、授業時数や実施率を引き上げる必要がある。 ○授業アンケートの選択肢は考慮した方がよい（普通があると中心化傾向になる）。満足していない点を掘り下げてほしい。
2	進路目標が具体的でない生徒がみられる。キャリア教育を推進し、進路希望の実現をかなえる方策に取り組む必要がある。	進路希望の実現 （希望を持たせ自己実現を支援する）	<ul style="list-style-type: none"> ○進路の手引きの改善 ○進路関係データを用いた進路相談の実施 ○進路希望の明確化、学習計画表の作成 ○生徒・保護者への情報発信 ○3年生の年度当初第1希望の実現 	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒が記入し活用できる手引きを作成できたか。 ○進路指導部及び担任は、データを用いた進路相談が実施できたか。 ○学習計画表に記入させることができたか。 ○進路指導部通信を適時発行する。 ○3年次当初の進路希望実現率は、大卒で60%を越えたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「進路のしおり」として、内容を改善した。 ○進路相談週間を毎月設定した。データの共有化は不十分。 ○個別に指導している。 ○3月中に進路通信7号を発行予定。 ○3月8日現在、進学希望達成率は約62%である。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○ファインシステムを導入し、全教職員がデータを共有化する。 ○1年生からの目標の明確化が重要である。 ○入学後からのデータを用いた一貫的な進路指導の実施が求められている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ファインシステムはどのようなものか。有効に活用してほしい。 ○オープンキャンパスの参加が奨励されているが、学校またはPTAで大学見学会を実施することにより成果が出るのではないかな。
3	生徒一人ひとりに配慮した学習指導、部活動、学校行事等を通して、健全な心身と心豊かな人間性の育成に努める必要がある。	健全な心身 心豊かな人間性 （誠実、健康、努力、品格の育成）	<ul style="list-style-type: none"> ○各種教育活動において安全の配慮、健康・体力の増進を目的・目標とした計画の立案 ○学校行事等の特別活動を通し、努力、感謝、成就感等の体験 ○儀式、行事等の場面を通しTPOにふさわしい整容及び言動の指導 ○人間としての在り方生き方に関する教育の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ○各種教育活動が安全に実施できたか。 ○様々な学校行事等への参加意欲を持たせ、達成感等を味合わせることができたか。 ○本校生としての自覚と誇りを持たせ、その場にふさわしい整容・言動ができていたか。 ○一人ひとりの人権や生命を尊重する教育が実施できたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ○体育祭、文化祭、修学旅行等安全に実施できた。 ○生徒個別の感想は高い評価である。○各種集会時の講話や個別注意を通して指導している。 ○生徒一人一人を大切にした教育を全教職員が心がけている。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○学校行事だけではなく、日常の安全点検の充実が求められる。 ○行事のマナー化を防ぐ工夫や積極的な改善も必要である。 ○本校生としての自覚と誇りを持たせるために、制服の改定も検討課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒には、防犯活動（夜回り隊）など自治会活動に協力をしてもらっている。 ○不登校や中退の生徒が若干見られる。心の安全・ケアへの対応を行う必要がある。例えば、専門家の派遣やスクールカウンセラーの配置など。
4	本校の教育活動・成果等を積極的に生徒・保護者・地域市民・県民の方に公開し情報を発信していく必要がある。	開かれた学校づくり （公開・評価・説明）	<ul style="list-style-type: none"> ○学校HPのリニューアル ○最新情報の発信 ○学校評価懇話会参観者の増加 ○学校評価懇話会での有効な意見を学校運営に活用 ○市立高校合同文化祭への参加を検討 	<ul style="list-style-type: none"> ○年内に学校HPをリニューアルできたか。 ○最新情報に更新されているか。 ○懇話会参観者を延10名以上にする。 ○有効な意見を積極的に取り入れたか。また次年度方策立案の参考にしたか。 ○合同文化祭への参加を検討したか。 	<ul style="list-style-type: none"> ○リニューアルはできなかった。 ○更新は不十分であった。 ○3回合計で参観者は14名だった。 ○有効な意見を引き続き求めていく。 ○11月の文化交流発表会に、生徒会本部・部活動・学年の9団体が参加した。 	C	<ul style="list-style-type: none"> ○HPは組織的に新分掌で対応する必要がある。 ○評議員会・懇話会の構成員を増やす方向で検討したい。 ○満足度調査の結果を改善策に活かす必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○中学生の志願状況は外部評価の指標である。入学したいと思える学校にしてほしい。 ○特徴をよりPRしてほしい。HPを毎週更新してほしい。 ○評議員の構成を検討してほしい。
5	新学習指導要領及び「特色ある学校づくり」に対応した教育課程の編成を進める必要がある。	新教育課程 （時代の要請に応えた魅力あるカリキュラム）	<ul style="list-style-type: none"> ○先進校視察の実施 ○職員研修会の実施 ○魅力あるシステム等の導入の検討 ○単位増を図り、魅力ある選択科目配置の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ○先進校視察を実施したか。 ○職員研修会を実施できたか。 ○具体的なシステム導入の検討ができたか。 ○単位増を図り、魅力ある選択科目の配置を検討したか。 	<ul style="list-style-type: none"> ○首都圏の6高校を教員が視察した。地方の高校を電話調査した。 ○5月と11月に実施した。 ○単位制、土曜授業を検討した。24・25年度教育課程を策定した。 ○24年度より2単位増、隔週土曜授業の実施を決定した。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○大学や外部機関との連携を具体的に検討する必要がある。 ○教育課程の変更は、今後、中学生・保護者など外部への周知・アピールが重要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校の魅力、「売り」をつくって欲しい。 ○授業評価・生徒満足度調査結果に対して、個々の先生方がどう評価しているのか、どのようにしていきたいと思っているのか見えると良い。